

前進 元気を運べ 開上だより



一般財団法人オーバザーレインボー基金

校歌・復刻

昨年実現できなかった旧開上小・中学校の校歌保存のイベントが、11月6日(日)13時より開上小中学校体育館で行われました。二度の延期を乗り越え約40名の卒業生、在職された先生方をはじめ、関係者の皆さんも参加しました。コロナ感染症が増える中、多数の方が参加を見合わせましたが、無事に行うことができました。

開上小学校校歌、『岸をひたして名取川』あなたもぼくも』は、平和な世の中へ健やかに育つて欲しい願いが込められたと改めて感じます。すずめの学校からだかの学校へ移り『だれが生徒か、先生か、みんなで元気に遊んでいる』平等と平和教育を願うことは永遠です。

開上中学校校歌、『太平洋の暁にさんとそびゆるわが校舎』新しい時代の若人へエール、正義・勤労・協働の心を持ち平和な世界を築くようにと、作詞された初代校長菅井二郎先生のご意志と察します。当日は、先生のお孫さんも参加され、祖父の功績に改めて感激され、勲章と賞状もご持参し拝見させて頂き、戦後教育に情熱を注いだ先生に敬意を表しました。

代表のかの香織さん、地元音楽サークル・エスポワールフォレの皆さんに指導を受け、指揮川端先生(現開上小中学校)、ピアノ伴奏菅井聡恵先生(元開上中学校)の伴奏で校歌を合唱。

また、参加された開上小・中に勤務されていた先生方や卒業生が一つになり、世代を超越して『校歌』をこの日に復活出来き、万感胸に迫る思いでした。これぞ校

歌復刻!

歌い終えたあとは、開上の昔の写真上映も行いました。懐かしい町建物、風景、人たちも保存に参加しているように思えていただけたら幸いです。

近い将来に開上尋常高等小学校・開上小学校・中学校・開上小中学校の校歌を歌う機会があったらと思案しています。まちづくりの一環としてみんな考えてみませんか。

『音楽の力』と『校歌』の持つ魅力に感動した一日でした。

来る令和5年6月には開上地区学校開校150年を迎えます。

一般財団法人オーバザーレインボー基金代表・かの香織さん



エスポワール・フォレが歌う『旧開上小学校・中学校校歌』YouTubeで配信します。左記QRコードより



スクリーンに映し出された校歌を懐かしみながらの合唱



初代校長菅井二郎先生の勲章と賞状



森内科クリニック 名取市下余田宇鹿島86-5
☎022-383-3070

☐特別養護老人ホーム
☐ケアハウス
☐グループホーム

うらやす

☐デイサービスセンター
☐在宅介護支援センター
☎022-383-3750

医療・地域との連携で安心のサポート



☐介護老人保健施設
☐ケアサポート
☐デイケアセンター
若林区日辺字沖田15 ☎022-781-3830

☐特別養護老人ホーム

春の森から

太白区東郡山2-34-5 ☎022-304-2750

閑上湊神社が整いました

9月14(水)湊神社社務所上棟式が氏子総代、建設関係者で執り行われました。

一昨年に社殿完成、今年は神楽殿、手水舎も完成し、社務所と完全復興になります。

コロナ禍で今年も例祭は神事のみ行われました。やつと本来の祭りがもうすぐできる喜びを祈った例祭でした。令和5年は全て整った神社で祭りが行われます。今から期待が膨らみ待ち遠しいです。これまで神社再建に携わった関係者の皆さんや地元の人たちと祝いたいですね。初詣は整った閑上湊神社へ参拝出来ます。



閑上太鼓設立三十年 ゆりあげ復興まつり

10月9日(日)第2回ゆりあげ復興まつり・閑上太鼓保存会設立30年記念講演が開催されました。

震災後、復興へ向け太鼓演奏で後押しを続け、閑上復興各イベントになくはならない閑上太鼓保存会。震災前、湊神社祭りや公民館まつりにオープニングセレモニーで、「さあ始まるぞ」と胸

を躍らせていました。今も変わらずに勇壮に響き渡る音色に心が踊ります。永年の月日と共に住民に馴染み、閑上の復興と共に歩んできた閑上太鼓。設立30年おめでとつございませう。



音楽で復興支援：

9月11日(日)、宮城学院女子大学OGで音楽サークルの「エスポワールフォレ」の皆さんが、名取市文化会館小ホールで3年振りのコンサートを行いました。音楽で元氣と希望を持って欲しいと2014年から復興支援活動をしています。

閑上在住の代表小齋聖佳さんら9名が、ピアノやビオラなどでクラシックから童謡、歌謡曲、オリジナル曲などを披露。集まった観客は、地元の若い女性の歌声で心が和み、音楽の力に魅了されました。

代表の小齋聖佳さんは「故郷を想う心が活動の原点」と。私たちは絶望からひとつつ希望を日常へ見出してきました。そして普通の生活を得るようになった今日。同郷の若い後輩たちがこれからの閑上を創る気持ちに心が熱くなりました。



Sachiyoさん 3年振り閑上

震災後、シンガポールより音楽で被災地支援を続けているSachiyoさんが3年振りに閑上に訪れて頂きました。

会場では、十八番の「天城越え」を披露した途端に参加者の垣根が取れ、お互いの近況を語り合い3年の時空を埋めるかのように話の花が咲きました。

日本とシンガポールの交流は12年目になり、いつも閑上の復興を伝えて頂いています。ここ2年間はリモートコンサートで支援いただき、復興する閑上の写真を送っていました。

3年振りに見る閑上の街並、震災後のまちカフェでのコンサートは懐かしく、当時、みなさん涙をこらえて聴いていたのを思い出しました。



茶話会芋煮

10月1日(土)、秋晴れの中、中央第一団地C棟6階集会所で芋煮茶話会を開催しました。以前より、秋の深まる前に芋煮会をしたいとリクエストを頂き、芋煮会が実現しました。

当日は、カラオケ交流会でゆつたりとした雰囲気の中、宮城の味噌仕立てと、醤油牛肉の山形風の鍋をつくり芋煮を堪能しました。

ゲストに地元紙の新人記者(山形県出身)も参加、初めての宮城芋煮に脱帽した様子で、作り手の皆さんとの世代間交流を楽しみました。

団地管理組合は、同月30日に、団地住民と近隣住民も参加して行いました。美味しく楽しい時間を過ごした、これぞ「閑上コミュニティ芋煮」でした。



『関上自転車紀行』

宇佐美久夫



つれづれな私の日課



『関上散歩』

阿部好二

関上も冬の訪れで寒い日が多くなってきました。なんと今年はロードバイクに乗る機会がこれまでの最小でしたので、この冬は来春に向けてのトレーニングの充実を図りながらサイクルスポーツセンターを皆様に紹介したいと思ひ走行中です。

マイバイクなら一日中走っても200円の入館料。そして平坦な4kmのコースはマイペースで無理のない走りが出てきます。勿論速い方は速なりのトレーニングが出来ます。

気分転換したいときには、「かわまちテラス ゆりあげ」や「震災復興伝承館」や関上町内を走るのも自転車走行帯が多いので快適です。荒れた天候で無ければ自走の軽装備で、休憩場所も食事処も完備、運動後に関上温泉で汗を流してから帰宅も出来ます、遠出がチョットと言う時も是非検討価値ありますね。



旧関上7丁目にあった仮設グラウンドから、関上の野球とサッカースポーツ少年団の子どもたちの声を聴くことが出来ず久しい。この地区は、平成25年12月に「災害危険区域」の指定を受け、家が建てられない場所になった。市では、住民から買い取った土地の利用についてワークショップを重ねて関上コミュニティ広場とし、野球とサッカーができるグラウンドを整備した。新たに下水道の関上東ポンプ場も整備されました。

震災前ここは、世帯数305戸、843人が生活していました。地名は「東場」「7丁目」今は「関上東1丁目」に変わりました。新たな施設がありながら、地元のスポーツ活動が出来ないのがとても残念でなりません。一日でも早く地元のスポーツ少年団が再開することを願ひ散歩続けます。



地域協働活動

海浜植物の種まき



11月18日(金)関上小中学校 3年生(2クラス)が、ハマボウフウなどの海浜植物の種まきをしました。

名取ハマボウフウの会今野義正さん、北海道北の里浜花のかけはしネットワーク鈴木玲さん、北海道大学講師松島肇さんから、ハマボウフウをはじめとする関上の海岸に育つ海浜植物の特徴や、震災後に自生したお花畑のお話に興

味深く聴いていました。

先生方の指導の下、ハマボウフウ、ハマエンドウ、ハマヒルガオ、コウボウムギの4種類の種まきをしました。芽を出す春まで霜、風、雑草の対策をして発芽を待ちます。順調に行けば4月初めごろに芽を出し、5月末から6月中旬が見ごろになります。関上浜のお花畑の見学も予定しています。種まきや苗づくり、秋の種

取りをして、次年へ引継ぎます。地元で育つ海浜植物と地域に愛着を感じ、四季を通して観察・育成をする取組みをはじめました。

子どもたちは、種まきが大変気になったようで、帰り際にはテラスから大きな声で「ありがとうございました。」と、連呼が印象的でした。余談ですが、関上小中学校校章はハマボウフウです。



3人の講話に子供たちが、どんどん引き込まれていく光景は、すごく楽しく身に付く学習と映りました。この様な取組みを増やしたいと感じました。

いつもご支援いただいている企業のみなさま

Tohoku Earth Systems ITで未来を創造する!

東北アースシステムズ株式会社

〒980-0021 仙台市青葉区中央2-11-19 仙南ビル
TEL: 022-797-3103 FAX: 022-797-3153
URL: http://tearth.co.jp

*中途採用: Webシステム開発経験者募集中
*新卒採用: 2023年度4月入社 新入社員 同時募集 学部学科不問
問合せ先: 管理部 佐藤



ささ圭の笹蒲鉾



■本社・工場・植松店
〒981-1226 宮城県名取市植松字人生48-1
TEL 022-784-1239 FAX 022-784-1250
■手造りかまぼこ工房
〒981-1224 宮城県名取市増田3丁目10-13
TEL 022-384-8185 FAX 022-384-2169
■かわまちてらす開上店
〒981-1203 宮城県名取市開上中央1丁目6番地

ガスのある暮らしの素晴らしさを提案します

省エネ&CO2削減で地球も笑顔に!

仙南ガス株式会社

なとりんくうタウン事業所

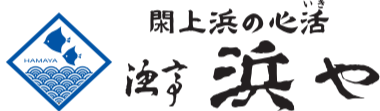
eco palette なとり

☎0120-008-141

TEL.022-381-4141/FAX.022-381-5934
〒981-1227 名取市杜せきのした5丁目31-9



〔カット井宅配いたします〕飛梅かわまちてらす開上店 ☎797-8895



かわまちてらす開上店
名取市開上中央1-6 TEL022-398-5547

あすと長町店

仙台市太白区あすと長町1-4-30
タカミヤスポーツパーク内 S306 TEL022-748-4115

仙台エスパル店

仙台市中央1-1-1 仙台エスパルB1 TEL022-266-6651

大切な家族の旅立ち
ペット火葬 -24時間受付

不安や疑問にお応えします

あかりテラス

〔営業時間〕9:00~17:00 月曜定休日
ペット火葬/納骨堂/合同墓地

☎0120-67-7716
蔵王町 村田インターから車で10分

宮城県知事許可第17124号 宮城県知事(2)第6180号
一級土木施工管理技士・宅地建物取引士・二級建築士

土木不動産どんなことでも
気楽に相談ください。

有限会社 カヤバ工業

代表取締役 萱場 善大

〒981-1203 名取市開上中央一丁目32番地2
TEL・FAX: 022-226-7730 携帯: 090-3127-7030

おしゃれ SETOYA
開上 せとや

開上小中学校指定制服操着取扱

営業時間: 10:00~17:00

TEL 022-281-8828

FAX 022-797-5515

〒981-1203 名取市開上中央一丁目10番地1

「開上だより」は、みなさまの
協賛金・寄付と広告料で運営しています。

私たちの活動は、皆さまのご協力が支えとなります。

〔ふるむなとり正会員〕

・個人会員 10,000円/年間(1口)

・法人または団体会員 30,000円/年間(1口)

〔ふるむなとり賛助会員〕

・個人会員 5,000円/年間(1口)

・法人または団体会員 10,000円/年間(1口)

会員・広告
募集

〔広告掲載料金〕

①125mm×92mm ¥20,000

②125mm×45mm ¥10,000

③61.5mm×45mm ¥5,000

振込先「開上だより」 ①振替口座 ゆうちょ銀行[記号]02250・9 [番号]134434
②振込口座 ゆうちょ銀行[支店名]229 [当座]0134434

令和4年度宮城県NPO等による心の復興支援事業で作成しています

追悼行事のお知らせ

令和5年3月11日(土)12時~16時 開上中央第一団地C棟集会所

14時46分黙禱、随時追悼していただきます。12年を迎え、
佛教では13回忌にあたります。忘れずに伝えたいことなどを
メッセージ、イラスト、折り紙などに表現して追悼します。皆さ
んの想いをお寄せください。送り先は、下記発行元住所まで



その日に備える 防災メモ

地震の震度とマグニチュードの違い

「震度」とは、地震の揺れ・10段階(0~4.5弱・強・6弱・強・7)日本
独自のもの平成8年に改正されました。

「マグニチュード(世界共通)」とは、地震の規模・大きさを表してい
ます。

ある婦人防火クラブの研修を手伝っていた時に、上記の違いをわ
からない方が複数いました。

東日本大震災での最大震度は7、名取市は6強です。

マグニチュードは9でした。

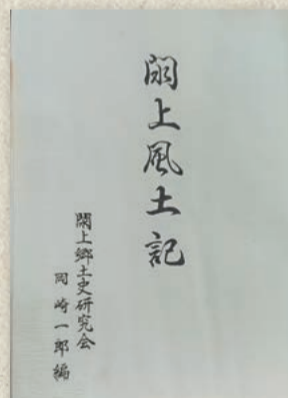
『地震があったら津波の用心』地震があったらとにかく逃げろ『から
ぶつてもいんでえの助かれば』

災害は季節・時間関係なく起こります。日頃の用心は大切です。

《第11回》

開上知ろ 郷土誌

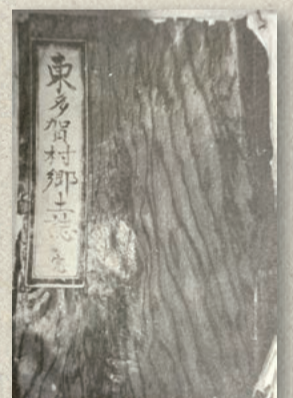
開上郷土誌3冊を紹介いたします。大正
7年刊行「東多賀村郷土誌」大友雄五
郎編。昭和4年刊行「開上町誌」。前者
は平成17年に翻刻刊行。後者は平成29
年に、名取市郷土資料集(東日本大震
災関連調査報告)「下増田村郷土誌」
と「開上町誌」を翻刻刊行しています。
昭和52年に「開上風土記 岡崎一郎編
があります。貴重な文献は郷土の誇
りです。
「開上町誌」の地勢に、本町には山は
無く名取川流域で単調な平野。丘陵
と見るべきものは鶴塚一帯がある。先
人は水害から学校を守るため少しで
も高い場所に学校建設したと思われ
ます。



開上風土記



開上町誌



東多賀村郷土誌

▼編集後記

「発行遅れお詫び」 読者の皆様こ
の度は発行遅れて大変申し訳ござ
いませぬ。12月1日に筆者もコロナ
感染してしまいました。4回のワク
チン接種をして感染症対策してい
ました。幸い大事に至らずに規定通
りの療養で復帰出来ました。以後
十分に健康に気を付けて参ります。
誠に申し訳ございませぬでした。
尚、開上だよりが届く頃は新年
をお迎えになつてのことだと思ひ
ます。令和5年はコロナ退散と、ロシ
ア・ウクライナに平和が訪れること
を切に願うものです。11月の校歌復
刻で、改めて平和・平等の大切さを
再認識した次第です。新年は穏やか
な世の中で過ごせますように願う
ものです。

▶発行元 開上だより vol.11 [2022冬号 2022.12.20発行] 編集部代表/格井直光

一般社団法人 ふらむ名取 〒981-1232 宮城県名取市大手町5-6-1 名取市市民活動支援センター内
TEL.090-3583-1359 FAX.022-382-6210 yuriage.fd@gmail.com https://www.framnatori.com

振込先「開上だより」 ①振替口座 ゆうちょ銀行[記号]02250・9 [番号]134434 ②振込口座 ゆうちょ銀行[支店名]229 [当座]0134434



ふらむ
なとり